

2 出 生

(1) 出生数及び出生率

出生数は17,004人で前年の17,240人より236人減少し、出生率（人口千対）は8.6で、前年の8.7を0.1下回った。

出生率を年次推移でみると、昭和48年の19.3から減少を続け、平成7年以降9点台で前年比増減を繰り返した後低下していたが、平成18年に8.9に上昇した。しかし、前年に引き続き、本年も8.6で減少している。

(2) 都道府県別にみた出生率

都道府県別に出生率をみると、本県の8.6は全国で15位であり、全国の8.5を0.1上回った。出生率の最も高い都道府県は沖縄県の12.2で、次いで愛知県の9.7、滋賀県の9.5となっている。また、最も低い都道府県は秋田県の6.4で、次いで青森県の6.9、高知県の7.1となっている。

3 死 亡

(1) 死亡数及び死亡率

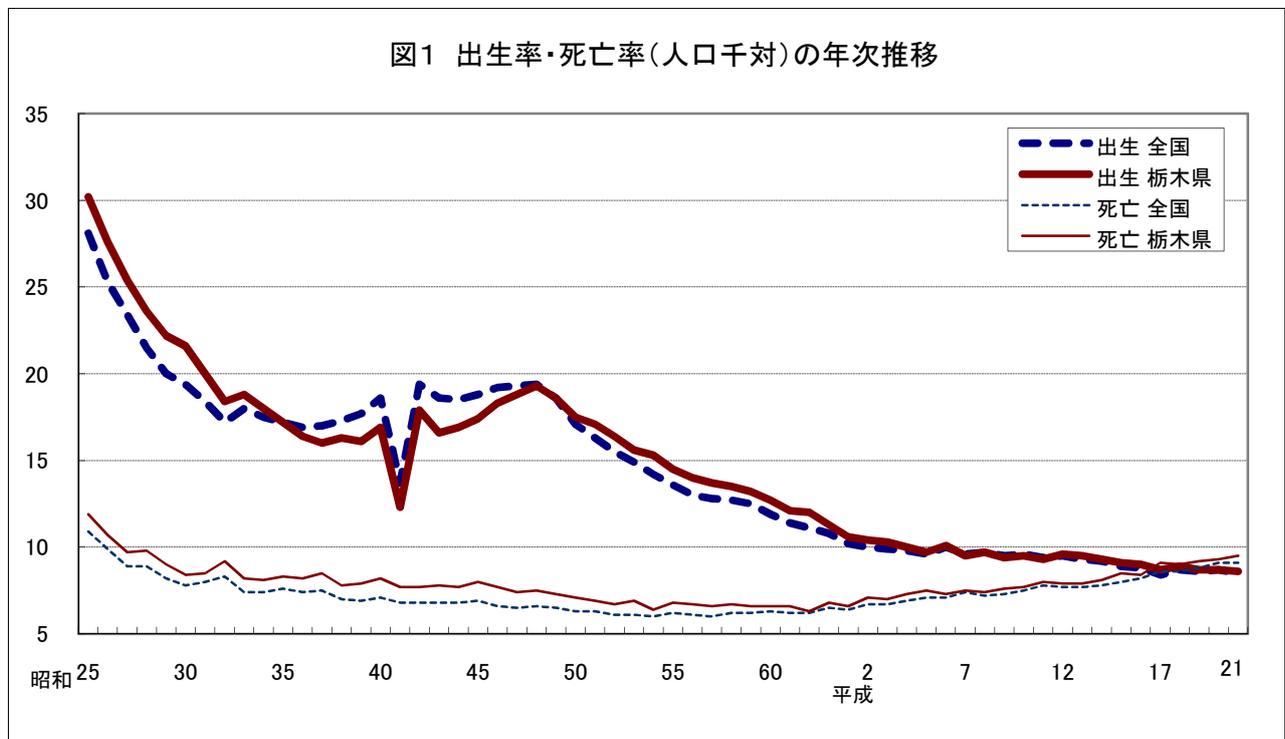
死亡数は18,777人で前年の18,437人より340人増加し、死亡率（人口千対）は9.5で前年の9.3を0.2上回った。

死亡率を年次推移でみると、昭和62年に過去最低の6.3まで低下した後、前年比増減を繰り返しながらゆるやかに上昇しており、本年も9.5と上昇した。

(2) 都道府県別にみた死亡率

都道府県別に死亡率をみると、本県の9.5は全国で32位であり、全国の9.1より0.4上回った。

死亡率の最も高い都道府県は秋田県の12.7で、次いで島根県、高知県の12.4となっている。また、最も低い都道府県は沖縄県、神奈川県の7.2で、次いで埼玉県の7.4となっている。



資料：人口動態統計